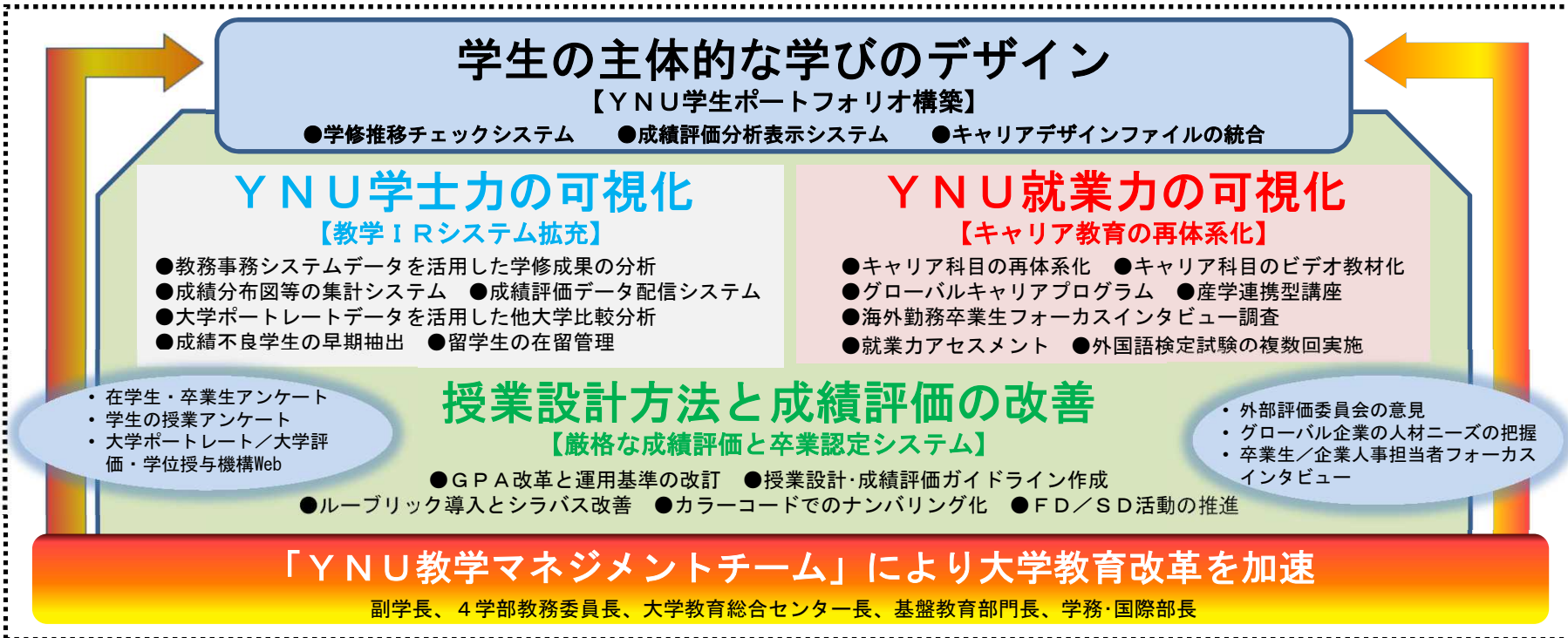


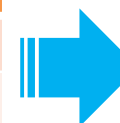
大学等名：横浜国立大学

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

本学の取組は、全学的教学マネジメントを強化し、学修成果の可視化を通じて教育内容・方法等の改善を図るものである。本プログラムでは、我が国が目指す大学教育改革の方向性を参照しつつ、本学の大学憲章(実践性、先進性、開放性、国際性)と教育目標(人材養成像)を踏まえ、「授業設計方法と成績評価の改善」を大学教育改革の基盤(ベース)と位置付け、その教育改革の両輪として学部教育の内部質保証システムを牽引していく「YNU学士力とYNU就業力」の可視化、その原動力となる全学的な「YNU教学マネジメントチーム」の組織化にある。これら可視化された教育成果を学生ポートフォリオに組み入れ、「学生自らが学修成果を把握し、次の学びを主体的にデザイン」できる行動様式に変容させ、「グローバルに活躍できる創造性ある専門職業人」の養成機能が抜本的に強化される。



【事業の成果】	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
学生の授業外学修時間(1科目平均)	週1.9時間	週2.5時間	週3.0時間
授業満足度アンケート実施率	42.6%	70.0%	100.0%
学生ポートフォリオ利用率	19.1%	40.0%	70.0%



本事業の実施により、

- ・全学的教学ガバナンス機能が強化され、厳格な成績評価と卒業認定システムへの移行に向けた大学教育改革が加速される。
- ・大学全体として、教学IRシステムの拡充強化、キャリア教育の再体系化が推進され、学生の主体的学びによる人材養成機能が強化される。